

## 市民と市長が高崎のさまざまなテーマで高齢者が安心して生活できる仕組みについ高齢者が安心して生活できる仕組みについ高齢者が安心して生活できる仕組みについる齢者が安心して生活できる仕組みについる場合が高崎のさまざまなテーマで

市長 私も子どもが一度、 なっていません。 救急車で れば命懸けだと思うし、モラルの問難しい。救急車を呼んだ本人からすのは大きな問題ですね。でもこれは用して、使いたい人が使えなくなる

市長 や回覧板もできるだけ顔を見て渡す人が定期的に家々を回るとか。広報がいなくなってしまった。そういう 帯をどうケアするかも課題ですね。 停電がありましたが、 す。私は電話番号も覚えています どを広めることが必要だと思いま 場合に備えて、消防局の病院案内な いというときがあります。こういうれど、夜間や休日に医者にかかりた 下田 救急車を呼ぶほどではない できると思います。 今は近所に「おせっかい」をする人 療を考えるときには高齢者だけの世 な夜を過ごしていた。防災や救急医 おじいちゃんとおばあちゃんが不安 にいませんよね。震災のとき、 ようにすれば、健康状態もチ こう 一人暮らしだと頼る人も近く いうのはどうでしょう? 真っ暗な中で エッ 計画

んです。それをみんなが意識するこ数が多いのは、しょうがないと思う

高齢化社会で救急車の出動回

(富岡市長)

とが大事なんじゃないでしょうか。

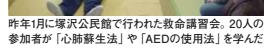
市長

本来使わなくてもいい人が利

富岡 賢治 市長

食べ過ぎない・飲 み過ぎないこと。

ということを知ってほしに聞いてみると、「手助、 けが必要な人がどこにいるのか、なはプライバシーの問題もあって手助 仕組みを見直さないといけない。 かなか把握できない。 たことだけど、隣近所で助け合える 市長 今回の震災であらためて感じ ってほしい」という、「手助けが必要だ でも高齢の 今



## 習っておけば必ず役に 結果と いう 車を呼ぶことになるかは分かりませ

特に高齢の人は心配です。

受講しました。 経験もあり、 ならないことがありました。 や民生委員さんに声をかけて全員で 知りました。去年、地域の区長さん の担当地域で救急車を呼ばなければ あります。救命講習のことはそこで一人も見逃さない運動」というのが してそのときは間に合わなかったん 本当に残念でした。そう 講習を受ける前でしたが、 私

撮影場所:中央消防署(八千代町1丁目

いることを実感地域の中で高齢化が進んで

(佐藤さん)

下田

民生委員の活動に「災害時

受けたきっかけは何ですか?を務められていますが、救命講習を する。 お二人は塚沢地区の民生委員

つと思い受講しました。 塚沢地区民生委員 副委員長 佐藤 美一さん 普段健康な人でも、 健康の秘けつは、毎 朝のテレビ体操と散 步。飯塚町在住。 いつ救急

以上で一人暮らしの人がこの10年で佐藤 私が受け持つ町内では、70歳 3倍に増えました。 救急車のサイ レンを聞かな

市長 ことがありますか? 日はありませんね。 らいたいですね。救急車には乗った を受けていただき、 高齢者が多いと聞いています。 少しでも多く 意識を高めても 救急車を呼ぶの の人に救命講習

乗したことはあります。 合いが交通事故を起こしたときに同 私自身はありませんが、 知り

私も同乗したのは5回ぐら 幸い自分はお世話には

## 塚沢地区民生委員 委員長 下田 チヅ子さん 地域の人と一緒に 行うフォークダン ス。江木町在住。

## 地域の活動が、 つないでくれます 人と人を (下田さん)

暮らしの高齢者や障害のある人がどして災害マップを作りました。一人は、地域の人とボランティアが協力 下田 こにいるのかも確認しました。 塚沢地区の全ての町内会で

**三とですが、一番効果がある。** 軒両隣に声をかけて回る。基本 が、 があるけれど、情報がうまく伝わり広報車やラジオなどいろいろな手段 市長その取り組みはいいですね。 じいちゃん、 に隣近所の元気のいいおじさんたち きらないこともあります。 玄関をトントンとたたいて「お 大丈夫?」と向こう三 ある。 民生 そのとき

> 委員さんも大変だと思いますが、 んばってもらいたいです。

減っていくと思います。 をタクシー代わりに利用することも とする人を手助けできれば、救急車 を率先して手伝っていきたいです ね。地域で健康な人が、 元気なうちは協力できること 支援を必要

下田 談相手がいないという状況は、 市長 を見てもらったりもしています。 さんをお呼びして、 りますね。そこに病院の在宅支援員 にしています。 会所を使って、 おくことも大事ですね。 んだん不安も増えてくる。近くに相 うちの地域では、公民館や集 普段から話し相手をつくって 毎回40人くらい集ま 人が集まる交流 血圧や健康状態 一人だとだ 0) 場

と思います。 どもを持つ親も高齢者も安心できる れていると感じられれば、小さい子下田 地域の優しいまなざしに守ら て世代にとっても同じです。

助け合いにつながっていくと思いまり集まって互いに知り合うことが、 佐藤 年中行事などで町内の人が寄 ま

日は貴重なお話をありがとうござ 暮らせるというのが一番です 味ではいざと言うときの救急救命に 市長 なります。みんなが安心して安全に 世代を超えた交流も、 広い意 ね。 今

(7) 高崎市役所 ☎027-321-1111 2012. 2. 1 (6)



佐藤 救急車に乗ってからも大変で

受け入れ先の病院を救急隊の

なかなか見つからないことも…。 が一生懸命探してくれるんだけど、

救急車を必要な人が使えな

いのは大きな問題

じましたね。

題でもあるから。

までの時間というのは本当に長く感 運ばれたことがあります。到着する